

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ル・シェモア浜松中央北 新築	階数	地上10F
建設地	静岡県浜松市中区八幡町字二丁目	構造	RC造
用途地域	準防火地域、近隣商業地域、市街化	平均居住人員	144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2019年9月26日
敷地面積	897 m <sup>2</sup>	作成者	久保 博志
建築面積	444 m <sup>2</sup>	確認日	2019年9月26日
延床面積	3,304 m <sup>2</sup>	確認者	久保 博志



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
節湯器具、LED照明等エネルギー消費効率の良い機器を積極的に採用し、省エネルギー環境に配慮した。また、周辺には住宅が多く立ち並ぶ地域となるので、敷地内に緑化を設け周囲からも良好な景観になるように努め、住居内は天井を高く設けゆとりのある環境を提供している。	0	
<b>Q1 室内環境</b> シックハウス対策としてF☆☆☆☆を全面的に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高を2.96mとし、ゆとりのある空間を演出している。また、品確法維持管理対策等級等級2を取得予定である。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内にできるだけ多く植栽を設けることで、自然との調和を図っており、植栽を多く設けることで周囲からも住居者側からも良好な景観になるように設計している。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁、屋根等に断熱性の高い断熱材を採用。また、節湯器具、LED照明等エネルギー消費効率の良い機器を積極的に採用し、一次エネルギーの削減に努めている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型の衛生器具を用いることで水資源の保護に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋上広告を一切なくし、光害対策に配慮している。また、十分な駐車スペースを設けており、利用者が利用しやすいよう計画している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>						
建物名称	(仮称)ル・シェモア浜松中央北 新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>						
重点項目	得点 <sup>*</sup> /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.7	/5				
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.5	/5				
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5				
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9	/5				
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満	

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。							
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点		<b>2.7</b>			
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ②昼光利用設備なし。 ④住居部カーテンレール設置。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能	
	Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備	
			3.2	3.2.1	③	昼光制御	
	Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数	
			2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔		
			2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		
			2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔		
			2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔		
			2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数50%以上を確保した。 ⑥可能な限り外構植栽計画を行い、敷地内温熱環境の改善に取り組んだ。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
		3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上	
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦断熱性の高い断熱材を採用。 ⑨節湯器具、LED照明等エネルギー消費効率の良い機器を採用。 ⑩設備器具の取り扱い説明書を住居者へ受け渡す。	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制	
		2			⑧	自然エネルギー利用	
		3			⑨	設備システムの高効率化	
		4	4.1		⑩	モニタリング	
			4.2		⑩	運用管理体制	
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑬ガス消火設備を採用していない。	LR-2	1	1.1		⑪	節水	
			1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無	
				1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無	
		2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減	
				2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用	
				2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用	
				2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
				2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材	
				2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
		3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用	
			3.2	3.2.1	⑬	消火剤	
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭節湯器具、LED照明等省エネルギー対策の採用。	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮	
		2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善	
<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点		<b>2.5</b>			
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性	
				2.1.2	⑯	免震・制振性能	
			2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備	
				2.4.2	⑰	給排水・衛生設備	
				2.4.3	⑰	電気設備	
				2.4.4	⑰	機械・配管支持方法	
				2.4.5	⑰	通信・情報設備	
<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点		<b>2.5</b>			
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳階高2.96m	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画	
		3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり	
				3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ	
■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑視線を遮るようなものは設置せず、防犯・防火に配慮している。	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮・快適性の向上	
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点		<b>2.9</b>			
■室内環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外構緑地指数50%以上を確保した。 ㉒敷地内に緑化を設けることで周囲からも良好な景観になるように努めた。 ⑥可能な限り外構植栽計画を行い、敷地内温熱環境の改善に取り組んだ。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出	
		2			㉒	まちなみ景観への配慮	
		3	3.2			⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善